

2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 ヨシタケ
 コード番号 6488 URL <http://www.yoshitake.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 哲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 島 勝彦

TEL 052-881-7146

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	5,279	1.2	481	1.6	757	15.3	584	2.7
2019年3月期第3四半期	5,215	2.8	489	9.9	656	2.6	600	27.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 766百万円 (40.0%) 2019年3月期第3四半期 547百万円 (26.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	91.63	
2019年3月期第3四半期	94.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	13,717	11,855	85.9	1,846.88
2019年3月期	13,279	11,316	84.7	1,762.06

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 11,787百万円 2019年3月期 11,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		34.00	34.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				36.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,250	3.5	650	9.3	940	14.1	760	5.3	119.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	6,967,473 株	2019年3月期	6,967,473 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	585,134 株	2019年3月期	585,134 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	6,382,339 株	2019年3月期3Q	6,382,340 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、[添付資料] P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、家計部門においては雇用・所得環境の改善が持続しました。個人消費は、消費増税前の駆け込み需要の反動による影響が懸念されたものの、軽減税率の導入や幼児教育・保育の無償化などの負担軽減策により大きな落ち込みは回避されました。企業部門においては、企業収益は一進一退の動きで推移したものの、設備投資は省力化やデジタル化に向けたソフトウェア投資を中心に増加基調が継続しました。今後については、人手不足に伴う人件費の高騰やオリンピック終了後の建設投資の反動減による景気の落ち込みなど国内経済への影響が懸念されるものの、企業の働き方改革を背景とした省力化投資や、老朽化した設備の更新、新技術活用のための研究開発投資など、民間設備投資を中心として経済活動は成長性を持続し、景気はゆるやかな回復基調を維持する見込みであります。一方、海外経済においては米中の貿易摩擦や中東情勢をめぐる緊張感の高まりにより依然不確実性をはらんでおり、近隣諸国における地政学リスクへの懸念も依然として予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましては、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました結果、国内顧客向け販売においては、オリンピック関連も含めた都心再開発計画などにより活発化している建築設備市場において受注を増やし、その他の国内市場においてもおおむね堅調に推移しました。海外顧客向け販売においては、米中の貿易摩擦による影響が懸念されたものの、新規顧客開拓等の積極的な営業活動により、中国や北米地域での販売を伸ばすなど、販売活動全体としては堅調に推移しました。今後については、更なる海外販路の拡大を目指すとともに、より積極的な提案型営業を推進し、受注率の向上に努めてまいります。また、生産活動の合理化やコストダウンを強力に進め、経営の効率化と業績の向上に努めてまいります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き積極的な提案営業を展開しました結果、連結売上高は52億79百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

損益面では、生産の効率化や工数低減を強力に推し進めましたものの、当社グループの生産拠点である連結子会社ヨシタケ・ワークス・タイランド株式会社の一時的な操業度の低下に伴うコストの増加等により、営業利益は4億81百万円(前年同期比1.6%減)となりました。経常利益は持分法による投資利益の増加などにより7億57百万円(前年同期比15.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に発生した固定資産売却益が当期は発生しなかったことなどにより5億84百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は137億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億37百万円増加しました。主に現金及び預金が2億99百万円増加したことなどによります。

負債は18億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1百万円減少しました。主に支払手形及び買掛金が1億47百万円減少したことなどによります。

純資産は118億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億39百万円増加しました。主に配当金を2億16百万円支払ったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を5億84百万円計上したことにより利益剰余金が3億67百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通り推移しておりますので、2019年5月17日付決算短信にて開示いたしました予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,583,912	1,883,411
受取手形及び売掛金	2,573,167	2,639,346
商品及び製品	1,266,261	1,285,908
仕掛品	769,103	705,004
原材料及び貯蔵品	907,237	900,285
その他	208,860	252,123
貸倒引当金	△283	△164
流動資産合計	7,308,259	7,665,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,995,985	3,045,488
減価償却累計額	△1,704,448	△1,779,031
建物及び構築物(純額)	1,291,537	1,266,457
機械装置及び運搬具	3,579,171	3,746,930
減価償却累計額	△2,018,167	△2,208,570
機械装置及び運搬具(純額)	1,561,003	1,538,360
土地	788,565	798,995
リース資産	127,036	236,864
減価償却累計額	△96,718	△126,226
リース資産(純額)	30,318	110,638
建設仮勘定	36,736	45,376
その他	1,057,049	1,091,065
減価償却累計額	△959,789	△1,001,373
その他(純額)	97,260	89,692
有形固定資産合計	3,805,421	3,849,520
無形固定資産	55,351	56,523
投資その他の資産		
投資有価証券	1,650,263	1,747,474
その他	460,354	398,039
投資その他の資産合計	2,110,618	2,145,514
固定資産合計	5,971,390	6,051,557
資産合計	13,279,650	13,717,474

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	728,368	581,359
1年内返済予定の長期借入金	19,120	-
未払法人税等	60,051	46,861
賞与引当金	163,504	81,780
その他	219,864	314,647
流動負債合計	1,190,908	1,024,649
固定負債		
リース債務	9,867	92,434
役員退職慰労引当金	276,659	284,959
退職給付に係る負債	455,954	429,647
資産除去債務	30,002	30,041
固定負債合計	772,483	837,082
負債合計	1,963,391	1,861,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,905	2,657,905
利益剰余金	6,787,825	7,155,645
自己株式	△454,777	△454,777
株主資本合計	10,899,628	11,267,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,751	73,229
繰延ヘッジ損益	△1,375	-
為替換算調整勘定	299,027	446,732
その他の包括利益累計額合計	346,404	519,962
非支配株主持分	70,226	68,331
純資産合計	11,316,259	11,855,743
負債純資産合計	13,279,650	13,717,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	5,215,612	5,279,019
売上原価	3,104,799	3,160,127
売上総利益	2,110,812	2,118,892
販売費及び一般管理費	1,621,544	1,637,322
営業利益	489,268	481,569
営業外収益		
受取利息	32,366	31,081
受取配当金	3,214	3,542
持分法による投資利益	148,812	254,351
その他	21,732	17,675
営業外収益合計	206,125	306,651
営業外費用		
支払利息	744	1,641
売上割引	7,642	8,398
為替差損	27,714	15,303
その他	2,300	5,556
営業外費用合計	38,401	30,899
経常利益	656,991	757,321
特別利益		
固定資産売却益	114,451	-
投資有価証券償還益	4,669	-
特別利益合計	119,121	-
税金等調整前四半期純利益	776,113	757,321
法人税、住民税及び事業税	83,357	96,051
法人税等調整額	83,630	68,344
法人税等合計	166,988	164,396
四半期純利益	609,124	592,925
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,134	8,104
親会社株主に帰属する四半期純利益	600,990	584,820

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	609,124	592,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,529	24,477
繰延ヘッジ損益	△4,606	1,375
為替換算調整勘定	17,209	149,847
持分法適用会社に対する持分相当額	△36,884	△2,142
その他の包括利益合計	△61,810	173,558
四半期包括利益	547,314	766,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	539,180	758,378
非支配株主に係る四半期包括利益	8,134	8,104

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の「有形固定資産」が15,414千円増加し、流動負債の「その他」が6,318千円及び固定負債の「リース債務」が9,491千円増加しております。当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,769,457	446,155	5,215,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	97,483	1,143,661	1,241,144
計	4,866,940	1,589,816	6,456,757
セグメント利益	279,836	211,163	490,999

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	490,999
棚卸資産の調整額	△1,731
四半期連結損益計算書の営業利益	489,268

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,941,185	337,834	5,279,019
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55,846	1,127,622	1,183,469
計	4,997,031	1,465,457	6,462,488
セグメント利益	322,691	128,087	450,779

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	450,779
棚卸資産の調整額	30,789
四半期連結損益計算書の営業利益	481,569